

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-479
研究課題名	デジタルマンモグラフィのソフトコピー診断標準化および CAD (Computer-aided detection) 導入に関する基礎的検討
研究期間	西暦 2014年 1月 (倫理委員会承認後) ~ 2016年 3月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 生検材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (乳房エックス線撮影の画像データ)
上記材料の採取期間	西暦 2008年 4月 ~ 2013年 12月
意義、目的	<p>近年、日本女性の乳癌の罹患数および死亡数は増加の一途を辿っており、より精度の高い乳癌検診が望まれています。乳癌の早期診断にはマンモグラフィ (乳房エックス線撮影) が有用とされ、国際的な標準診断法として普及していますが、撮影装置や撮影者の違いから同一患者であっても画像の見え方に差異が生じ、医師が同じ診断基準で画像診断するには難点があります。そこで、本研究では、それらの差異を低減し、均一な画像表示を実現することを目的としています。また、マンモグラフィの画像診断において、医師の診断を補助する装置の開発も同時に進めており、その装置の性能向上を目指した評価および改良を目的としています。</p>
方法	<p>対象者は、東北大学病院に設置されている日立メディコ社製デジタルマンモグラフィシステムを用いて、2008年4月~2013年12月に診療または検診の目的でマンモグラフィを撮影した患者または検診受診者です。その中で、既に乳癌であるとの確定診断を受けたマンモグラフィの画像データ約30症例と、乳癌でないとの診断を受けた正常なマンモグラフィの画像データ30症例が対象材料です。</p> <p>撮影されたマンモグラフィの画像に対してコンピュータによる画像処理を行い、その結果を医師に提示します。医師は、その画像処理の性能、および画像処理を行う装置や結果表示を行う装置の使い勝手を評価します。評価の結果は、装置の性能向上のために役立て、研究のために新たな検査を行うわけではありません。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1 東北大学大学院医学系研究科画像診断学分野 実施責任者：石橋 忠司 電話番号：022-717-7481